

# 感 染 症 対 策 課

# 感染症対策課事務分掌

## 情報管理班

- 1 課の庶務に関すること。
- 2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）（以下「感染症法」という。）に基づく患者処置等（就業制限、入院勧告、公費処理）に関すること。
- 3 結核・感染症発生動向調査事業に関すること。
- 4 感染症診査協議会に関すること。

## 結核班

- 1 感染症法に基づく患者処置等（結核）に関すること。
- 2 結核・感染症発生動向調査事業（結核）に関すること。
- 3 感染症診査協議会（結核部会）に関すること。

## 普及啓発班

- 1 施設等（市民・学校・企業等）における感染予防の普及啓発に関すること。
- 2 後天性免疫不全症候群及び性感染症の予防に関すること。
- 3 肝炎ウイルス検査及び相談に関する事（健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づくものを除く。）。
- 4 感染症健康危機時の対応に関する事。

## 医療対策班

- 1 感染予防医療体制の構築支援に関する事。
- 2 感染症健康危機時の対応に関する事。

## 調査指導班

- 1 感染症法に基づく患者処置等（結核以外）に関する事。
- 2 狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）第 8 条第 1 項の規定による届出に関する事。
- 3 結核・感染症発生動向調査事業（結核以外）に関する事。
- 4 施設等（社会福祉施設等）における感染予防の普及啓発に関する事。
- 5 感染症健康危機時の対応に関する事。

# 1 結核予防事業

## (1) 健康診断

結核発病の早期発見を目的として定期健康診断の勧奨を実施し、結果の報告を受理した。定期健康診断結果報告は、法律に基づき事業者、施設長及び学校長を対象とした。

また、同様に結核感染の早期発見を目的として、結核患者と接触のあった者を調査し接触者健康診断を実施した。

### ア 健康診断実施状況

(単位：人)

区分	対象者	受診者	受診率 (B/A)	ツ反応検査		B C G	間接撮影者数	直接撮影者数	IGRA実施者数 (C)	被発見者数		
				被判定者数	陰性者数					発見患者数 (C/B)	発見率 (%)	結核発病の恐れがあると診断されたもの数
対象施設	(A)	(B)	(%)									
定期健診	事業者	43,529	40,772	93.7	-	-	-	7,747	32,995	-	-	-
	学校長	17,424	17,101	98.1	-	-	-	5,458	11,643	-	-	-
	内高 校	6,069	6,043	99.6	-	-	-	2,297	3,746	-	-	-
	大学(短大)	6,492	6,209	95.6	-	-	-	66	6,143	-	-	-
	その他	4,863	4,849	99.7	-	-	-	3,095	1,754	-	-	-
施設長	5,459	5,364	98.3	-	-	-	-	2,356	3,008	-	-	-
接触者健診	946	910	96.2	3	3	-	-	290	745	2	0	9
合計	67,358	64,147	95.2	3	3	-	-	15,561	47,936	745	2	0
												9

### イ 家族健診実施状況

(単位：人)

区分	対象者数	受診者数					検査結果				
		保健所実施分	委託医療施設分	その他	計	受診率 (B/A)	要医療者 (C/B)	予防内服者 (D/B)	経過観察者 (%)		
年度	(A)				(B)	(%)	(C)	(D)	(%)		
4	203	-	170	-	170	83.7	-	-	8	4.7	2
5	129	-	108	-	108	83.7	3	2.8	5	4.6	3
6	145	-	116	-	116	80.0	1	0.9	10	8.6	1

## (2) 患者管理

結核患者の病状、受療状況を的確に把握し、早期に社会復帰できるよう指導管理するとともに周囲への感染防止に努めた。また、結核患者登録票をもとに、必要な者に対し管理検診を実施した。

### ア 登録患者数（活動性分類別・年度末現在）

(単位：人)

区分 年度	総数 ※	活動性結核									不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症			
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性							
			登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他									
4	165	35	25	9	6	3	10	6	10	96	34	39				
5	168	32	25	10	10	-	10	5	7	102	34	52				
6	150	23	17	6	6	-	3	8	6	93	34	37				

※総数に潜在性結核感染症は含まない。

### イ 新規登録患者数（活動性分類別）

(単位：人)

区分 年度	活動性結核									潜在性結核感染症	
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性			
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他				
4	88	63	29	26	3	26	8	25	45		
5	81	63	35	34	1	20	8	18	41		
6	72	56	27	26	1	16	13	16	61		

### ウ 管理検診実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数 (A)	受診者数					検診結果			
		保健所 実施分	委託医療機 関実施分	その他	計 (B)	受診率 (B/A) (%)	要医療 者数 (C)	(C/B) (%)	発病のおそ れのある者	
4	303	-	240	37	277	91.4	1	0.4	126	
5	287	-	224	9	233	81.2	1	0.4	94	
6	308	-	246	11	257	83.4	-	-	105	

### (3) 結核医療

結核は、長期の療養と多額の医療費を必要とするため、法による公費負担制度が設けられている。公費負担制度には、感染症法第19条・第20条の規定により入院勧告又は入院の措置を実施した者を対象とするもの（第37条）と一般患者を対象とするもの（第37条の2）があり、患者からの申請を受け、申請内容について千葉市感染症診査協議会にて専門委員の承認を受けている。

#### ア 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況

(単位:件)

	被用者保険	国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他	合計
		一般	退職者本人	退職者家族				
申請	79	48	-	-	54	21	3	205
承認	79	48	-	-	54	21	3	205

#### イ 感染症法第37条の規定に基づく結核患者の自己負担額の状況

(単位:件)

自己負担区分	被用者保険	国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他	合計
		一般	退職者本人	退職者家族				
なし	6	9	-	-	13	8	-	36
2万円	-	1	-	-	-	-	-	1
計	6	10	-	-	13	8	-	37

#### ウ 感染症法第19条・第20条(入院勧告又は入院の措置)適用者の年齢階級別の状況

(単位:人)

患者数	患者の年齢階級区分									
	0~9	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~
37	-	1	5	1	1	5	6	5	10	3

### (4) 結核菌検査（遺伝子検査 VNTR 検査）

検査数 25 検体

### (5) 集団発生（結核）

発生事例 なし

## 2 感染症予防事業

医師からの発生届を受理し、患者調査ならびに接触者の健康診断、感染拡大防止を必要に応じて実施した。

また、感染症の発生及びまん延を防ぐため、感染症予防に関する普及啓発や社会福祉施設等への訪問指導を実施した。

### (1) 1類感染症発生状況（7疾患）

(単位：人)

疾患名	年 度	4	5	6
		—	—	—
1 エボラ出血熱	—	—	—	—
2 クリミア・コンゴ出血熱	—	—	—	—
3 痘そう（天然痘）	—	—	—	—
4 南米出血熱	—	—	—	—
5 ペスト	—	—	—	—
6 マールブルグ出血熱	—	—	—	—
7 ラッサ熱	—	—	—	—

### (2) 2類感染症発生状況（7疾患）

(単位：人)

疾患名	年 度	4	5	6
		130	130	149
1 急性灰白髄炎	—	—	—	—
2 結核	130	130	149	—
3 ジフテリア	—	—	—	—
4 重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—
5 中東呼吸器症候群	—	—	—	—
6 鳥インフルエンザ（H5N1）	—	—	—	—
7 鳥インフルエンザ（H7N9）	—	—	—	—

### (3) 3類感染症発生状況（5疾患）

(単位：人)

疾患名	年 度	4	5	6
		28	38	30
1 コレラ	—	—	—	—
2 細菌性赤痢	—	—	—	—
3 腸管出血性大腸菌感染症	28	38	30	—
4 腸チフス	—	—	—	—
5 パラチフス	—	—	—	—

## (4) 4類感染症発生状況（44疾患）

(単位：人)

疾患名	年 度			
		4	5	6
総 数		25	32	23
1 E型肝炎		9	14	9
2 ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む)		—	—	—
3 A型肝炎		—	—	2
4 エキノコックス症		—	—	—
5 黄熱		—	—	—
6 オウム病		—	—	—
7 オムスク出血熱		—	—	—
8 回帰熱		—	—	—
9 キャサナル森林病		—	—	—
10 Q熱		—	—	—
11 狂犬病		—	—	—
12 コクシジオイデス症		—	4	3
13 エムポックス ※		1	2	—
14 ジカウイルス感染症		—	—	—
15 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）		—	—	—
16 腎症候性出血熱		—	—	—
17 西部ウマ脳炎		—	—	—
18 ダニ媒介脳炎		—	—	—
19 炭疽		—	—	—
20 チクングニア熱		—	—	—
21 つつが虫病		1	2	—
22 デング熱		1	—	1
23 東部ウマ脳炎		—	—	—
24 鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9) を除く。)		—	—	—
25 ニパウイルス感染症		—	—	—
26 日本紅斑熱		—	—	1
27 日本脳炎		—	—	—
28 ハンタウイルス肺症候群		—	—	—
29 Bウイルス病		—	—	—
30 鼻疽		—	—	—
31 ブルセラ症		—	—	—
32 ベネズエラウマ脳炎		—	—	—
33 ヘンドラウイルス感染症		—	—	—
34 発しんチフス		—	—	—
35 ボツリヌス症		—	—	—
36 マラリア		—	—	—
37 野兎病		—	—	—
38 ライム病		2	—	—
39 リッサウイルス感染症		—	—	—
40 リフトバレー熱		—	—	—
41 類鼻疽		—	—	—
42 レジオネラ症		11	10	7
43 レプトスピラ症		—	—	—
44 ロッキー山紅斑熱		—	—	—

※令和5年5月25日までは、サル痘

## (5) 5類感染症発生状況（全数把握 24 疾患）

(単位：人)

疾患名	年 度	4	5	6
		132	158	183
1 アメーバ赤痢	7	3	3	
2 ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	-	6	2	
3 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ※	22	20	29	
4 急性弛緩性麻痺	-	-	-	
5 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	9	21	15	
6 クリプトスボリジウム症	-	-	-	
7 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	4	6	
8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	10	6	
9 後天性免疫不全症候群	3	2	2	
10 ジアルジア症	1	1	-	
11 侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	4	1	
12 侵襲性髄膜炎菌感染症	1	-	1	
13 侵襲性肺炎球菌感染症	9	10	19	
14 水痘（入院例に限る。）	2	1	4	
15 先天性風しん症候群	-	-	-	
16 梅毒	64	72	75	
17 播種性クリプトコッカス症	1	2	2	
18 破傷風	1	-	1	
19 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	
20 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	-	-	
21 百日咳	-	1	17	
22 風しん	-	-	-	
23 麻しん	-	1	-	
24 薬剤耐性アシネットバクター	-	-	-	

※令和5年5月25日までは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

(6) 調査件数

発生の状況に応じた現地調査・患者調査や聞き取り調査を実施した。

(単位：件)

種類	年度	4	5	6
1類感染症		—	—	—
2類感染症		244	238	266
3類感染症		28	38	36
4類感染症		26	27	26
5類感染症		1	1	1
集団発生の報告に基づく調査等 ※		—	—	50
合 計		299	304	379

※学校、社会福祉施設等からの報告に基づき実施。令和6年度実績分から集計。

(7) 行政検査実施状況（検査機関：千葉市環境保健研究所、国立感染症研究所等）

行政として必要と判断した検査や、民間衛生検査所で検査できないウイルス・細菌等について、医療機関または対象者からの検体を受理し、検査機関に検査依頼した。

(単位：件)

種類	検査種別	年度	4	5	6
ウイルス	麻しん・風しん		33	94	53
	感染性胃腸炎		191	115	155
	その他		46	110	77
細菌	3類感染症		94	111	115
	その他		49	52	22
検体数合計			413	482	422

(8) 感染症予防の普及啓発、施設への訪問指導

令和6年度から、イベントへの参加や市民・学校・社会福祉施設等を対象に予防教室を実施し、感染症予防対策の普及啓発を図った。

併せて、学校、社会福祉施設等へ訪問指導を実施した。

(単位：件、人)

種類	年度	6	
		件数	人数
イベント参加		10	719※
予防教室	市民	15	540
	学校	48	2,146
	社会福祉施設等	2	16
	その他	18	386
訪問指導	学校	1	
	社会福祉施設等	63	
相談	市民	526	
	学校	5	
	社会福祉施設等	149	

※人数不詳の図書館展示イベント1件を除く

(9) 感染防止対策を実施している医療機関との連携

感染対策向上加算\*を届け出た病院が行うカンファレンス等に参加し、医療機関との連携を図った。

\*感染対策向上加算とは、医療機関の感染防止対策の取組や地域の医療機関が連携して実施する感染症対策の取組、新興感染症の発生時等に都道府県などの要請を受けて感染症患者を受け入れる体制の確保について評価するもの。

種類	(単位：回)		
	年度 4	5	6
感染対策地域連携会議	3	3	4
感染対策向上加算合同カンファレンス	32	36	41

(注) 令和4年7月26日付け、厚生労働省保険局医務課事務連絡により、令和4年度及び令和5年度の一部は、書面を受理した回数を計上した。

(10) 医療機関からの相談

感染症に関する電話相談 16件

### 3 エイズ予防事業

エイズ（後天性免疫不全症候群）対策として、HIV感染者・エイズ患者を早期に発見し、適切な医療につなげるため、匿名・無料で抗体検査を実施し、希望者には専門のカウンセラーによる相談を実施した。併せて性感染症対策としてクラミジア・梅毒の抗体検査を実施した。

また、エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を図るため市内中学校などを対象に、専門のカウンセラーによる「性感染症に関する講演会」を開催した。

#### (1) HIV及びクラミジア・梅毒抗体検査実施状況

(単位：件)

性別 年度	HIV抗体検査				クラミジア抗体検査				梅毒抗体検査			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計	男	女	その他	計
4	32	13	-	45	31	13	-	44	31	13	-	44
5	322	120	-	442	238	102	-	340	238	102	-	340
6	332	136	26	494	278	116	20	414	278	116	20	414

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は4回実施。

令和5年度は26回実施。

令和4年度までは保健所内にて、令和5年度からは委託医療機関にて検査実施。

令和6年度から性別「その他」の集計を開始。

#### (2) エイズ相談実施状況

(単位：件)

年度	相談方法	男	女	その他	小計	計
4	電話相談	25	2	-	27	73
	来所相談	31	15	-	46	
	その他	-	-	-	-	
5	電話相談	17	7	-	24	115
	来所相談	-	-	-	-	
	委託医療機関	71	20	-	91	
6	電話相談	41	6	-	47	172
	来所相談	-	-	-	-	
	委託医療機関	89	32	4	125	

(注) 令和6年度から性別「その他」の集計を開始。

(3) 性感染症に関する講演会実施状況

(単位：回, 人)

年度	講演会数	受講者数
4	5	400
5	3	297
6	6	917

(4) 休日検査実施状況

(単位：人)

年度	実施日	会場	受検者数
4	—	—	—
5	6月3日(土)	委託医療機関	11
	9月2日(土)	委託医療機関	5
	12月2日(土)	委託医療機関	9
	2月3日(土)	委託医療機関	6
6	6月1日(土)	委託医療機関	20
	8月3日(土)	委託医療機関	25
	11月30日(土)	委託医療機関	25
	2月15日(土)	委託医療機関	29

(注) 例年、土曜日に年4回実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は中止。

令和5年度からは委託医療機関にて検査実施。

## 4 新型コロナウイルス感染症対策事業

医師からの発生届（HER-SYSへの入力、またはFAXによる。）を受理し、患者調査を行うとともに、必要に応じて受診または入院の調整を実施し、自宅療養の患者に対しては健康観察を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置付けが2類相当から5類に変更されたことに伴い、これらの業務は令和5年5月7日で終了した。また、電話による相談窓口業務も令和6年3月31日で終了した。

令和5年5月7日以前に新型コロナウイルス感染症に罹患し、発生届を受理した患者については、引き続き希望者に対して療養期間証明書を発行した。

(1) 療養期間証明書発行状況

(単位：件)

区分	年度	4	5	6
療養期間証明書		37,686	751	201